

## 令和4年度 第1回利用者会議 開催報告

日頃より春日部市市民活動センター（ぼぼら春日部）をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
さて、4月10日（日）と14日（木）の両日、令和4年度第1回利用者会議を開催いたしましたので、以下の通りご報告いたします。

今回もコロナ禍での密を避けるために2日間に分かれ、またオンライン併用（ハイブリッド）型で開催し、33団体40名の皆さまにご出席を頂きました。

### 1. 開催概要

	1日目	2日目
日時	4月10日（日）10:00～12:00	4月14日（木）13:00～15:00
会場	ぼぼら春日部 4階 会議室1・2	
議事	1. ご挨拶 開会と所長交代 2. 議事 (1) センターからの報告 ・令和3年度利用者会議の振り返り ・令和4年度事業計画 (2) ぼぼらフェスティバル実行委員会からの報告 ・10周年記念イベント報告 (3) ぼぼらフェスティバル2022について (4) 令和4年度利用者会議年間討議テーマについて (5) 各団体近況報告・意見交換	ぼぼら春日部 小笠原 事務局 吉田理子実行委員長 事務局 事務局
出席者	会場参加 13団体 13名 オンライン参加 3団体 3名 <b>16団体 16名</b> スタッフ 3名 合計 19名	会場参加 17団体 18名 オンライン参加 0団体 0名 <b>17団体 18名</b> スタッフ 3名 合計 21名

### 2. 質問・ご意見

#### 2-1 (1) センターからの報告

（質問）事業計画の中にある「市民アドバイザー」とは何か。

（回答）昨年度からの検討事項。市民活動に関するノウハウをどのように蓄積していくかの検討で。まだ具体的なアクションに至っていない。

（質問）事業計画の目的のようなものはまとめて公開されているのか。

（回答）まとめて公開していないので必要があれば個別に回答する。

（質問）例年は運営パートナー会議の後に利用者会議を行っていたが、今年度利用者会議を先に行った意図は何か。

（回答）今回はぼぼらフェスティバル2022の実行委員会を5月に開催するため先に利用者会議を開催した。次回の利用者会議についての意見を5月の運営パートナー会議で承る。

## 2-(2) ぽぼらフェスティバル実行委員会からの報告

(意見) 実行委員会形式で議論を進めていくこと自体が市民活動だった。

(意見) イベントのテーマを明確にすることにより実行委員の目線がそろい議論が進めやすくなる。

(意見) 今回は報告だったが、実行委員会として6つの課題を確認している。

## 2-(3) ぽぼらフェスティバル 2022 について

(意見) 今年はもっとテーマを細分化して、より多くの団体が参加できるようにしてほしい。

(意見) 文化団体の展示をもっとたくさんできるようにしてほしい。

## 2-(4) 令和 4 年度利用者会議年間討議テーマについて

特に質問等なし

## 2-(5) 各団体近況報告・意見交換

(意見) 南公民館などは稼働率が高いがぽぼらはいつも空いていて認知度がまだ低い。

(意見) 若い人がなかなか活動に参加してくれない。

(意見) コロナが長期化し思うような活動ができていない。

(質問) 空調設備や換気機能をデータ化して PR し、ぽぼらフェスティバルのイベントなどで安全に運営していることを示すことはできないか。

(回答) ビル管理室に具体的なデータが出せるか相談、回答待ち。

(意見) 年間を通じて同じ曜日の同じ時間帯を使用することが決まっている団体には優先して予約できるようにすべきだ。システム改修などの大げさなことではなく運用で何とかならないか。

(意見) 施設予約システムはこれから活動を始める人のためにも公平であるべきだ、

(意見) 使用したい時間が重なってしまう他団体と相談し、譲り合って利用できるのではないか。

(意見) 市民活動実践の場として利用者会議の存在意義は大きい。

(意見) 「ぽぼら」という名称はわかりづらい。「キューブ」の中に「ぽぼら」があると混同する。変えた方がいいのではないか。

(意見) 「ぽぼら」ではなく「市民活動センター」という呼称を使っている。フェスティバルのこともよくわからない。

(意見) 文化団体の展示会場が少ない。中央公民館の立派なギャラリーが取り合いになっている。ふれあいキューブは市民が使うには値段が高すぎる。

(意見) 公民館と市民活動センターは違う。センターの成り立ちや設置目的をもっと理解して利用すべき。センターも利用者会議の前半 15 分は設置目的の解説をして団体を啓発すべきである。

(意見) 月間イベントを有効活用してもっと自分たちの活動をアピールすべきである。

(意見) センターの設立意義についてはぽぼらフェスティバル実行委員会の中でも話し合っていきたい。

以上のご発言以外にも、コロナ禍で活動を継続するために工夫されたご苦労談などを披露していただきました。ありがとうございました。

今回ご都合がつかなかった皆さまにも、ご意見があればお気軽にスタッフまでお声がけください。

次回、第2回利用者会議は 2022 年 7 月頃の開催予定です。

引き続き、分散・オンラインで開催いたしますので、ぜひご参加ください。

以上